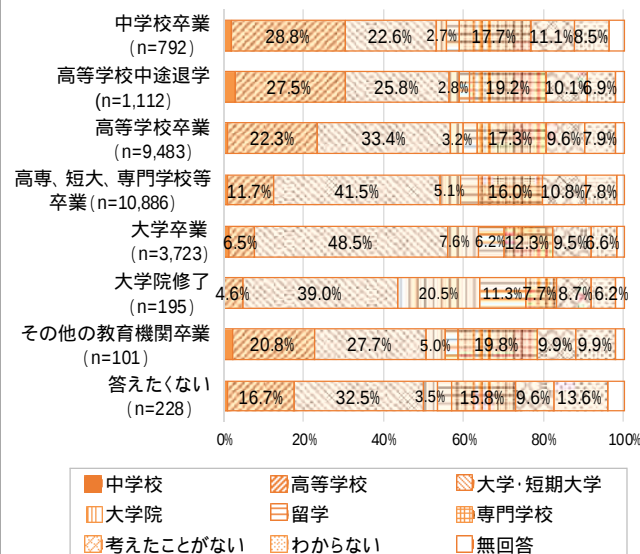
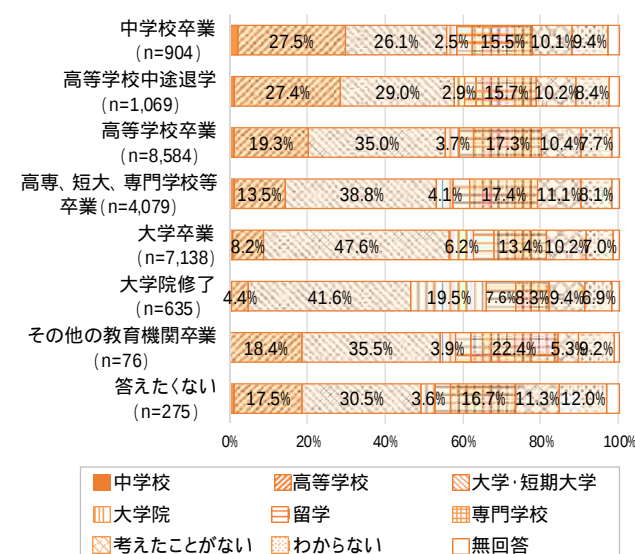


・保護者の最終学歴別

母親の最終学歴別 (図 213)



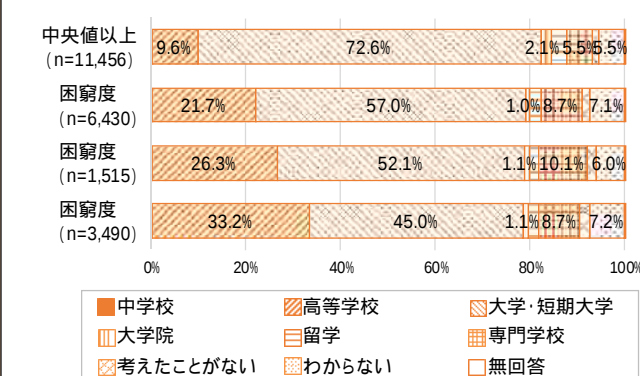
父親の最終学歴別 (図 214)



父親、母親ともに最終学歴が中学校卒業又は高等学校中途退学の場合、こどもが中学校又は高等学校を希望する割合が約 30% であるのに対し、父親、母親ともに最終学歴が大学卒業の場合、中学校又は高等学校を希望する割合は 10% 未満となっています。

12 困窮度別に見た保護者のこどもに対する進学予測

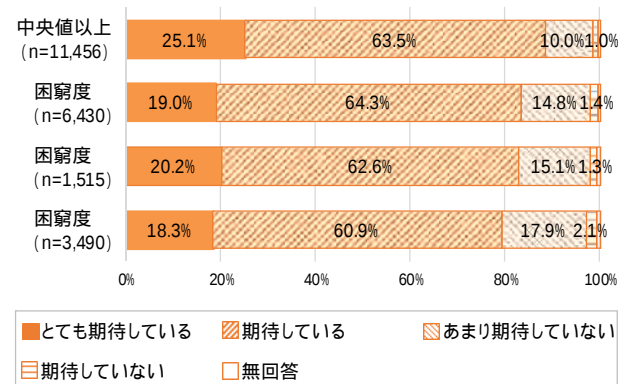
小5・中2のいる世帯 (図 240)



困窮度別に保護者のこどもに対する進学予測を見ると、困窮度が高くなるにつれ、高等学校卒業までの割合が増えており、中央値以上群では 9.6% であるのに対し、困窮度群では 33.2% となっています。

13 困窮度別に見た保護者の子どもに対する将来への期待

小5・中2のいる世帯(図 238)

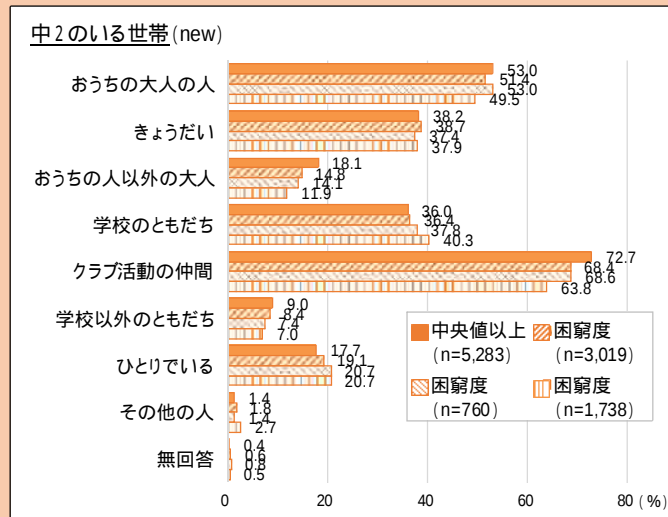
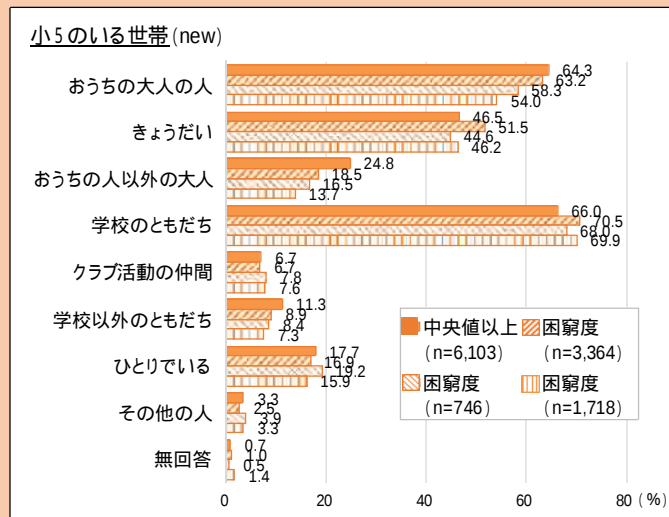


困窮度が高くなるにつれ、「あまり期待していない」「期待していない」の割合が増えており、中央値以上群では合計が11.0%であるのに対し、困窮度 群では、20.0%となっています。

ソーシャルキャピタルの欠如の状況

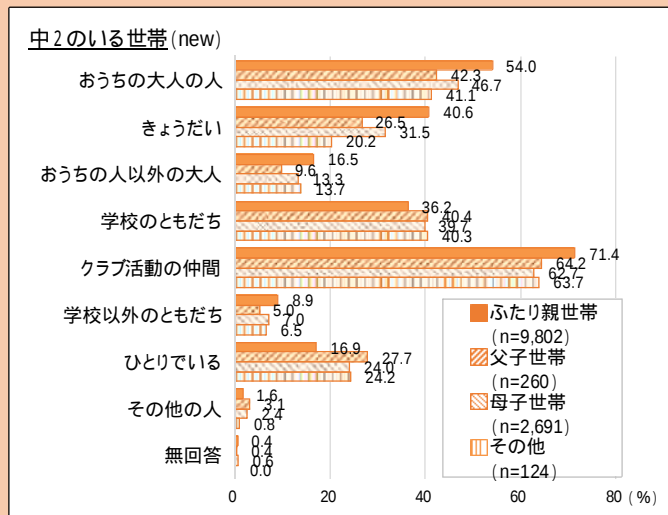
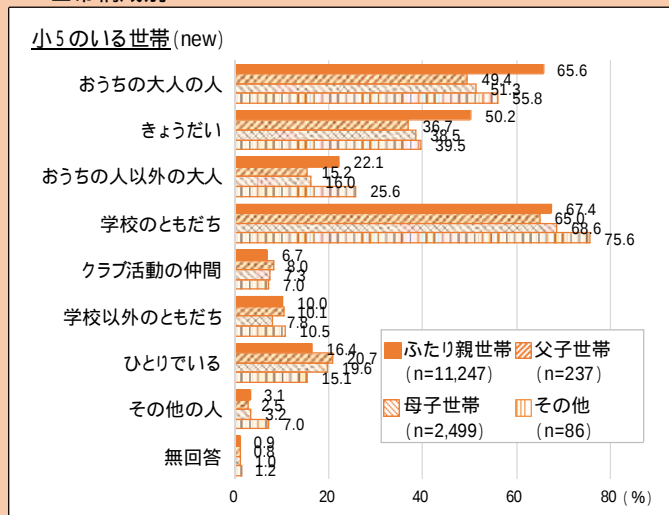
1 子どもが放課後に一緒に過ごす相手

・困窮度別



差が大きい項目を見ると、小学校5年生の場合、「おうちの大人の人」が中央値以上群では 64.3%であるのに対し困窮度 群では 54.0%、「おうちの人以外の大人」が中央値以上群では 24.8%であるのに対し困窮度 群では 13.7%、中学校2年生の場合、「おうちの人以外の大人」が中央値以上群では 18.1%であるのに対し困窮度 群では 11.9%、「クラブ活動の仲間」が中央値以上群では 72.7%であるのに対し困窮度 群では 63.8%となっています。

・世帯構成別

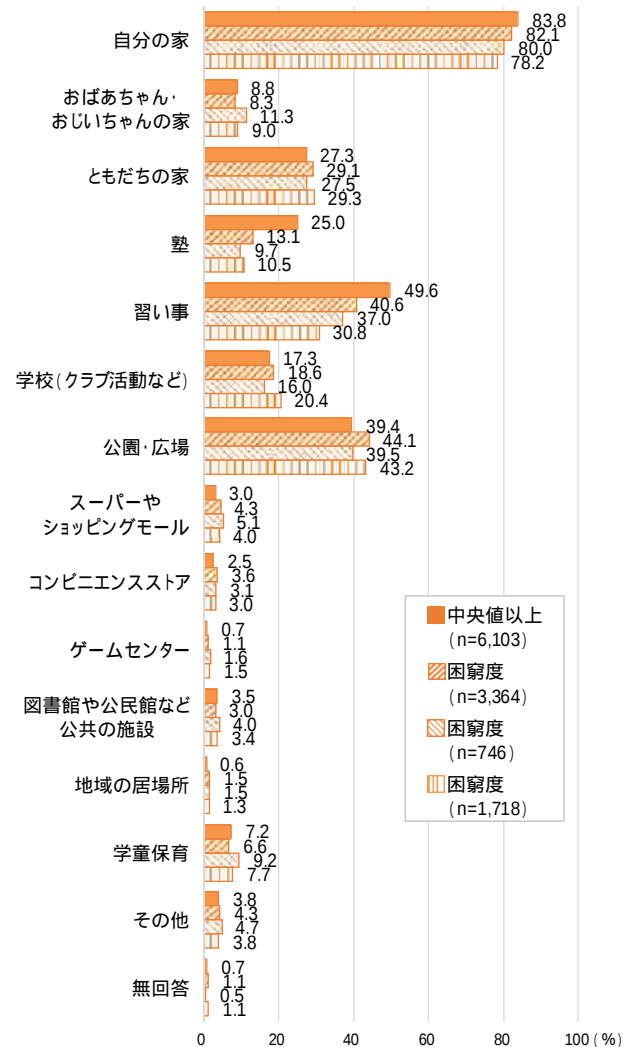


差が大きい項目を見ると、小学校5年生の場合、「おうちの大人の人」がふたり親世帯では 65.6%であるのに対し、父子世帯では 49.4%、母子世帯では 51.3%、「きょうだい」がふたり親世帯では 50.2%であるのに対し、父子世帯では 36.7%、母子世帯では 39.5%、中学校2年生の場合、「おうちの大人の人」がふたり親世帯では 54.0%であるのに対し、父子世帯では 42.3%、母子世帯では 46.7%、「きょうだい」がふたり親世帯では 40.6%であるのに対し、父子世帯では 26.5%、母子世帯では 31.5%、「クラブ活動の仲間」がふたり親世帯では 71.4%であるのに対し、父子世帯では 64.2%、母子世帯では 62.7%、「ひとりでいる」がふたり親世帯では 16.9%であるのに対し、父子世帯では 27.7%、母子世帯では 24.0%となっています。

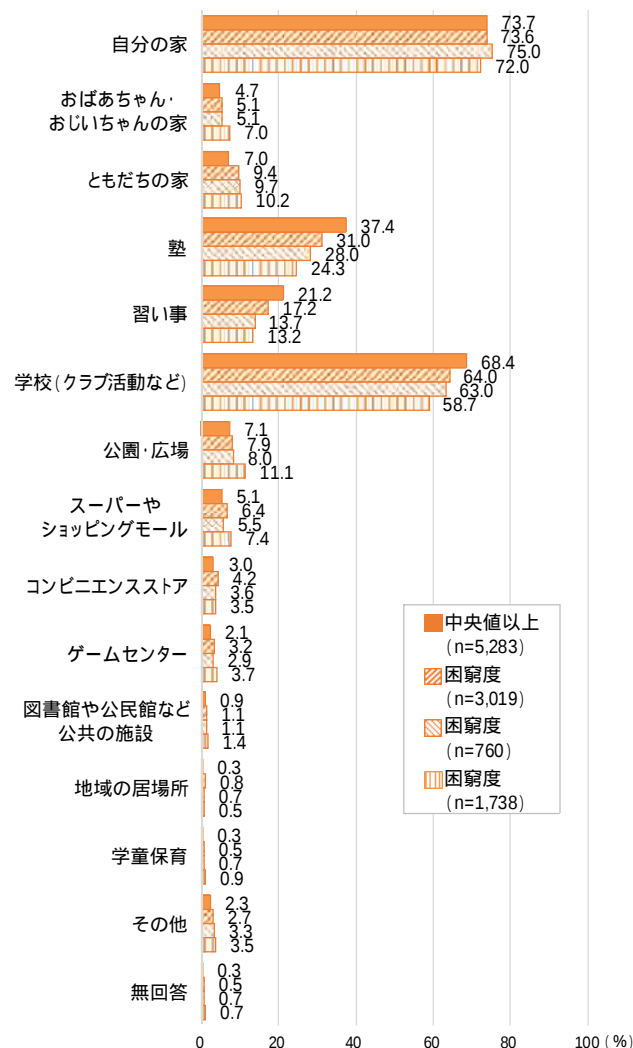
2 こどもが放課後に過ごす場所

・困窮度別

小5のいる世帯 (new)



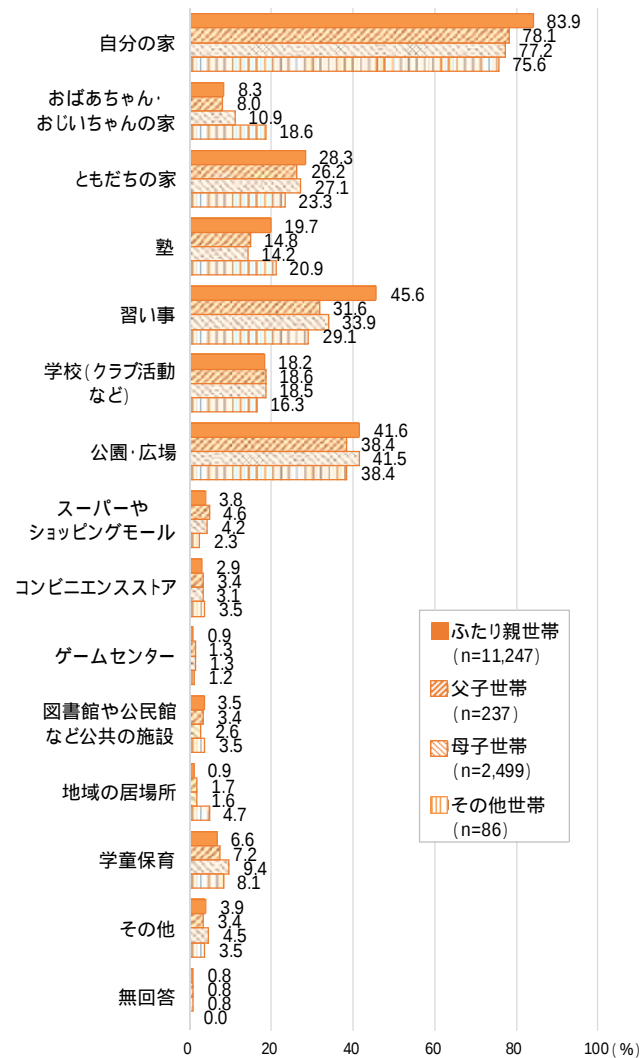
中2のいる世帯 (new)



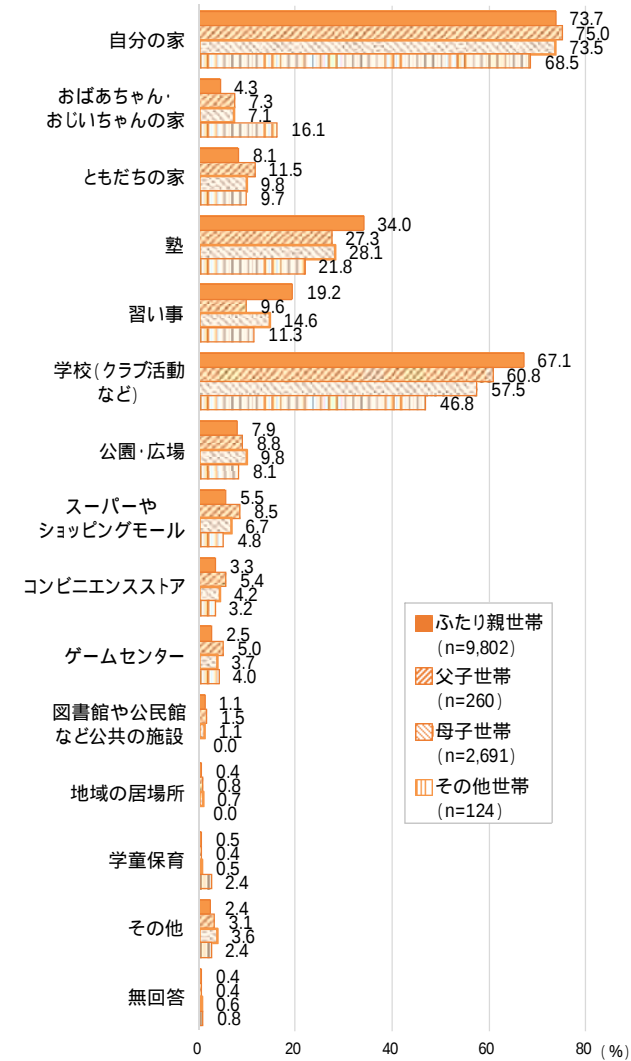
差が大きい項目を見ると、小学校5年生の場合、「塾」が中央値以上群では 25.0%であるのに対し困窮度 群では 10.5%、「習い事」が中央値以上群では49.6%であるのに対し困窮度 群では 30.8%、中学校2年生の場合、「塾」が中央値以上群では 37.4%であるのに対し困窮度 群では 24.3%、「習い事」が中央値以上群では21.2%であるのに対し困窮度 群では13.2%、「学校(クラブ活動など)」が中央値以上群では 68.4%であるのに対し困窮度 群では 58.7%となっています。

・世帯構成別

小5のいる世帯 (new)

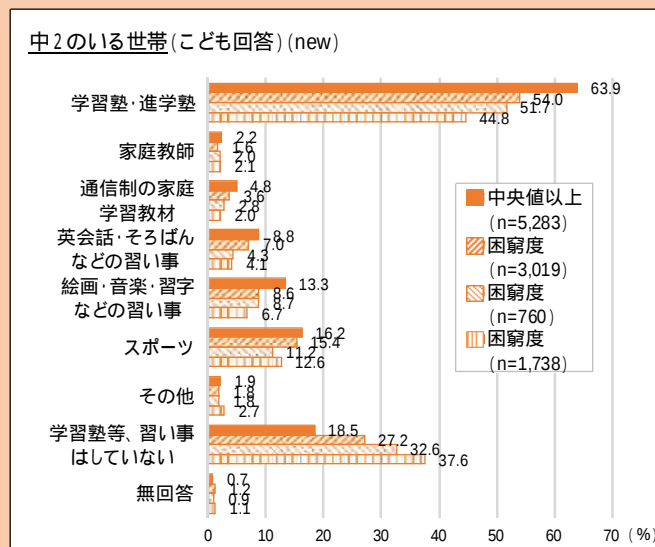
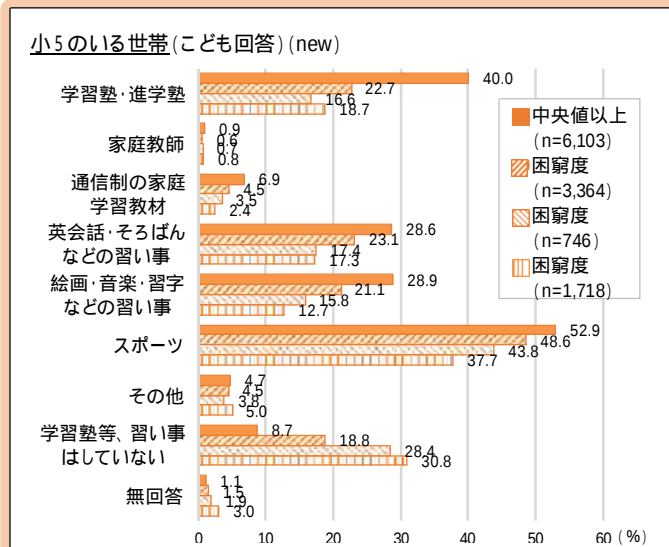


中2のいる世帯 (new)



差が大きい項目を見ると、小学校5年生の場合、「習い事」がふたり親世帯では 45.6% であるのに対し、母子世帯では 33.9%、父子世帯では 31.6%、中学校2年生の場合、「塾」がふたり親世帯では 34.0% であるのに対し、母子世帯では 28.1%、父子世帯では 27.3%、「習い事」がふたり親世帯では 19.2% であるのに対し、母子世帯では 14.6%、父子世帯では 9.6%、「学校(クラブ活動など)」がふたり親世帯では 67.1% であるのに対し、母子世帯では 57.5%、父子世帯では 60.8% となっています。

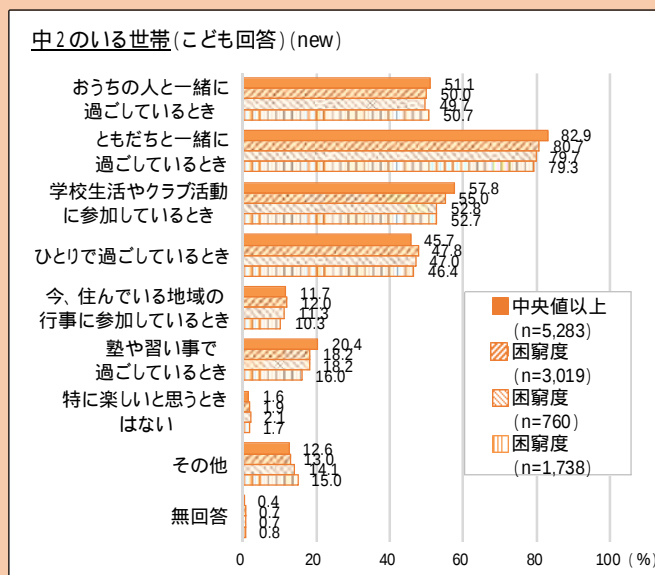
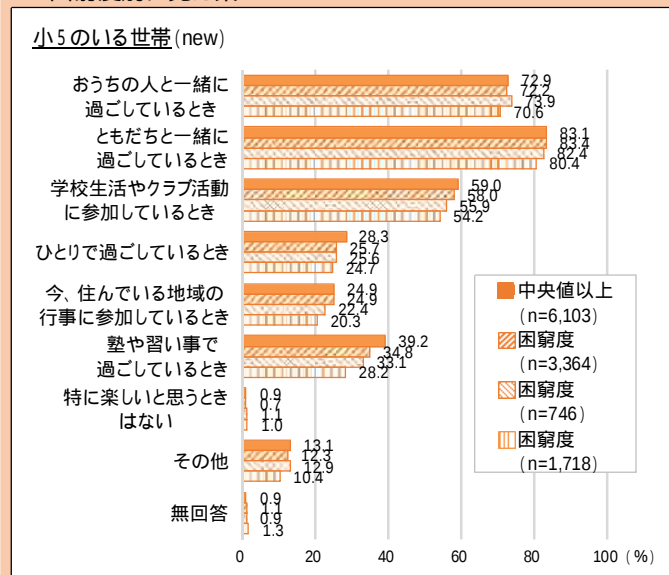
3 学習塾や習い事の利用状況



学習塾や習い事の利用状況は小学校5年生と中学校2年生とで大きく変わっていますが、どの利用先も困窮度が高くなるにつれて、利用している割合が低くなっています。

4 こどもの毎日の生活

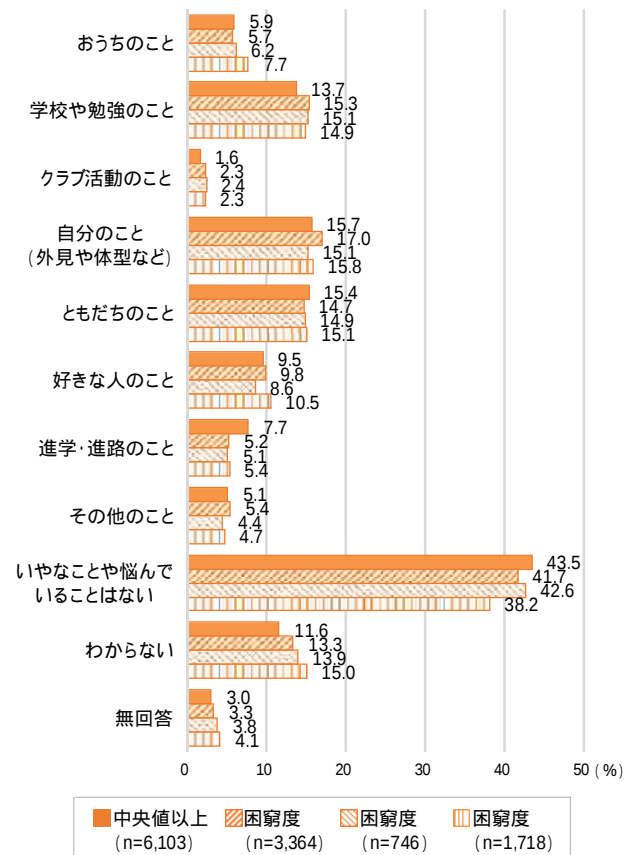
・困窮度別に見た楽しいこと



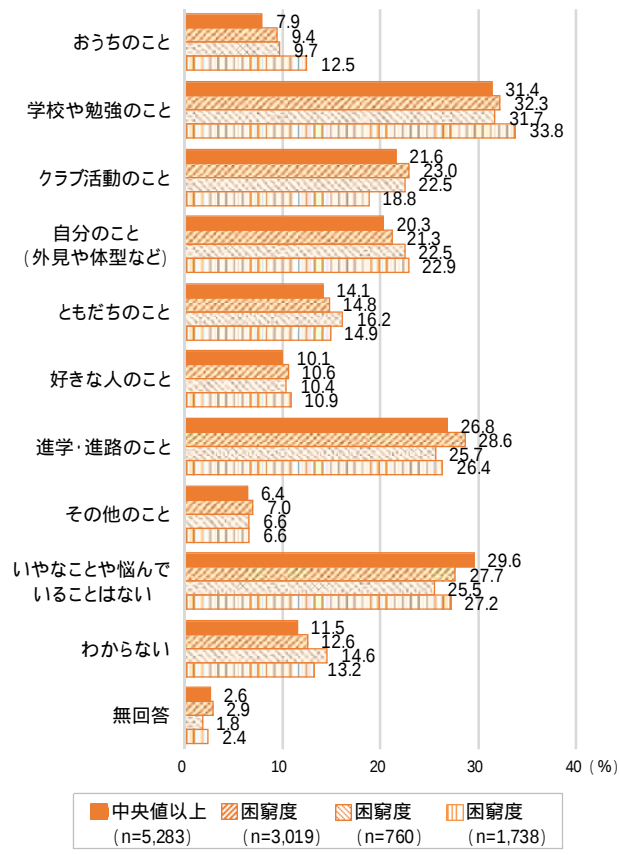
差が大きい項目を困窮度別に見ると、小学校5年生の場合、「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」が中央値以上群では59.0%であるのに対し、困窮度群では54.2%、「塾や習い事で過ごしているとき」が中央値以上群では39.2%であるのに対し、困窮度群では28.2%、中学校2年生の場合、「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」が中央値以上群では57.8%であるのに対し、困窮度群では52.7%となっています。

・困窮度別に見た、悩んでいること

小5のいる世帯 (new)



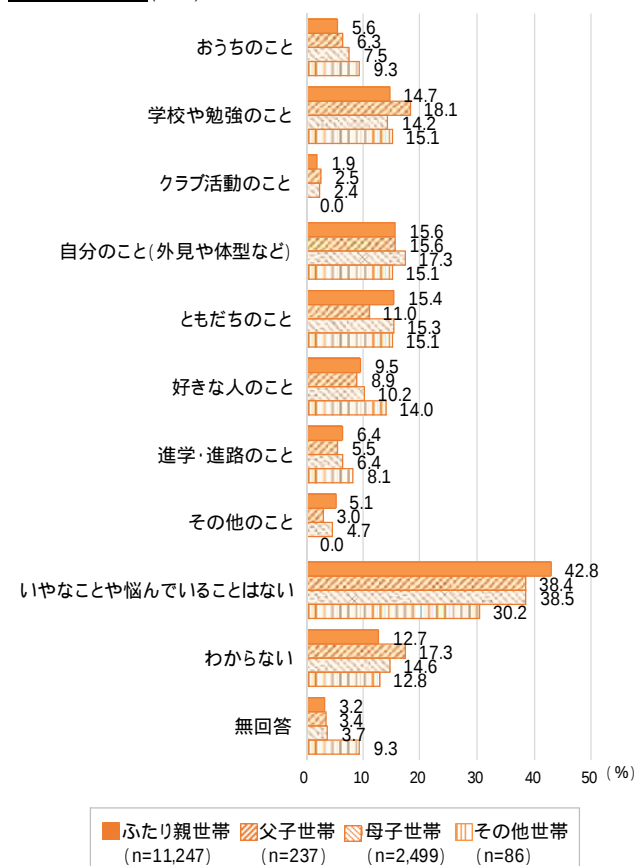
中2のいる世帯 (new)



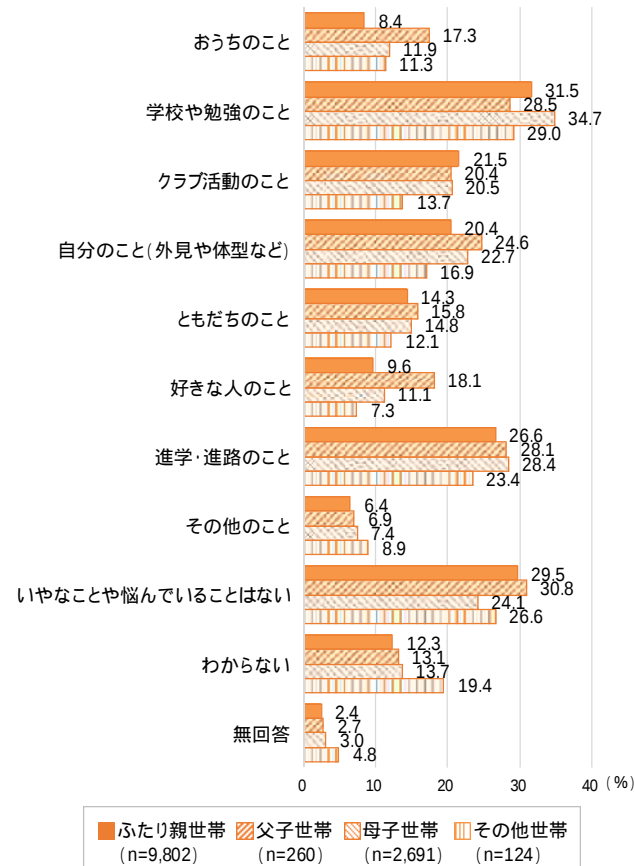
こどもの毎日の生活で悩んでいることについて、差が大きい項目を困窮度別に見ると、中学校2年生の場合、「おうちのこと」について中央値以上群では 7.9%であるのに対し、困窮度 群では 12.5%となっています。

・世帯構成別に見た、悩んでいること

小5のいる世帯 (new)



中2のいる世帯 (new)

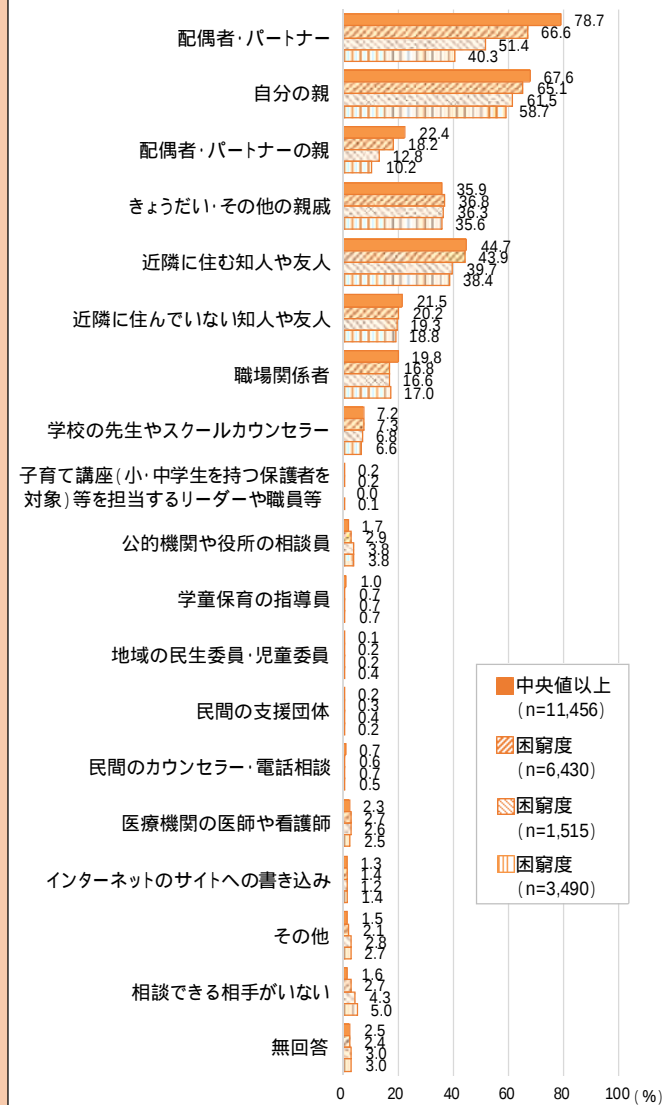


こどもの毎日の生活で悩んでいることについて世帯構成別に見ると、中学校2年生の場合、「おうちのこと」が、ふたり親世帯では8.4%であるのに対し、母子世帯では11.9%、父子世帯では17.3%となっています。

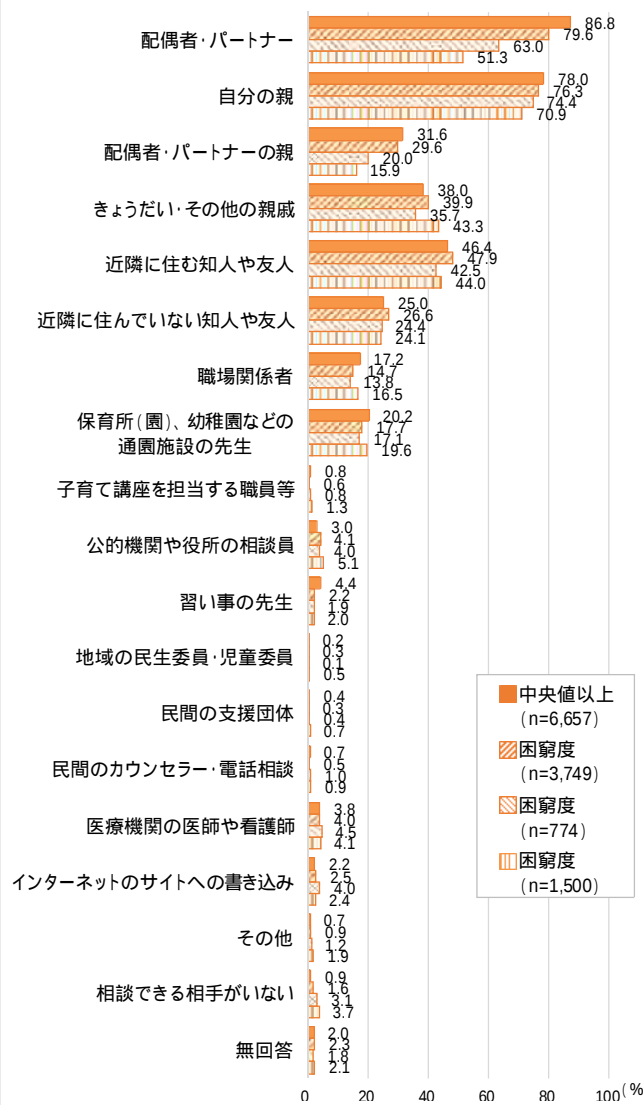
5 保護者が困ったときの相談先

・困窮度別に見た相談先

小5・中2のいる世帯(図290)



5歳児のいる世帯(new)

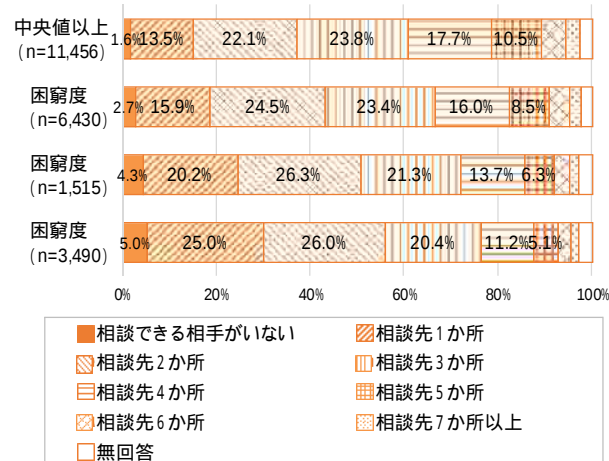


困窮度別の保護者が困ったときの相談先について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群との間で差が大きい項目に着目しながら困窮度Ⅰ群の数字を挙げると、小学校5年生・中学校2年生のいる世帯では、「地域の民生委員・児童委員」が0.4%(中央値以上群に対して4.0倍)、「相談できる相手がいない」が5.0%(3.1倍)、「公的機関や役所の相談員」が3.8%(2.2倍)となっています。

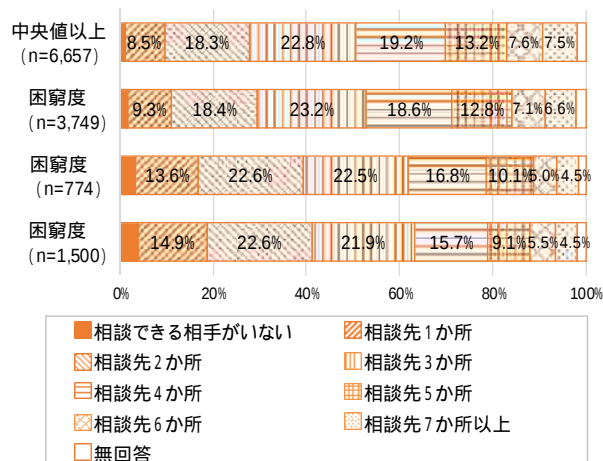
5歳児のいる世帯では、「相談できる相手がいない」が3.7%(中央値以上群に対して4.1倍)、「地域の民生委員・児童委員」が0.5%(2.5倍)、「民間の支援団体」が0.7%(1.8倍)となっています。

・困窮度別に見た困ったときの相談先の箇所数

小5・中2のいる世帯 (new)



5歳児のいる世帯 (new)

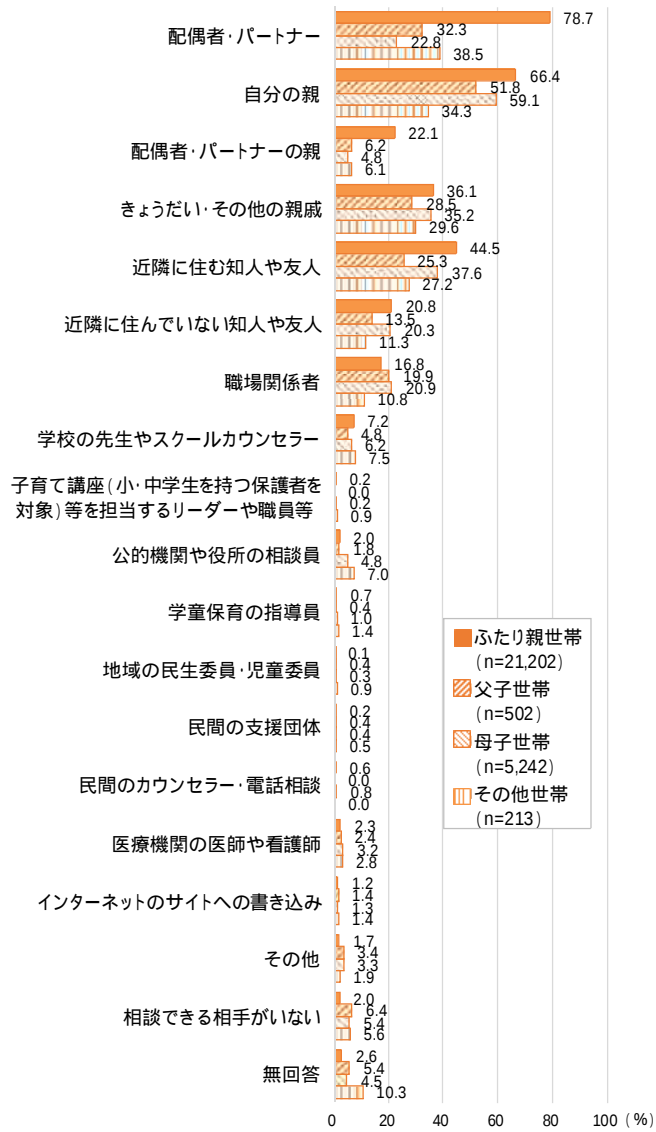


相談先の箇所数としてみた場合、困窮度が高くなるにつれ、相談できる相手がいないと相談先が1か所の割合の合計は高くなっており、小学校5年生・中学校2年生のいる世帯では、中央値以上群は15.1%であるのに対し困窮度 群は30.0%となっています。

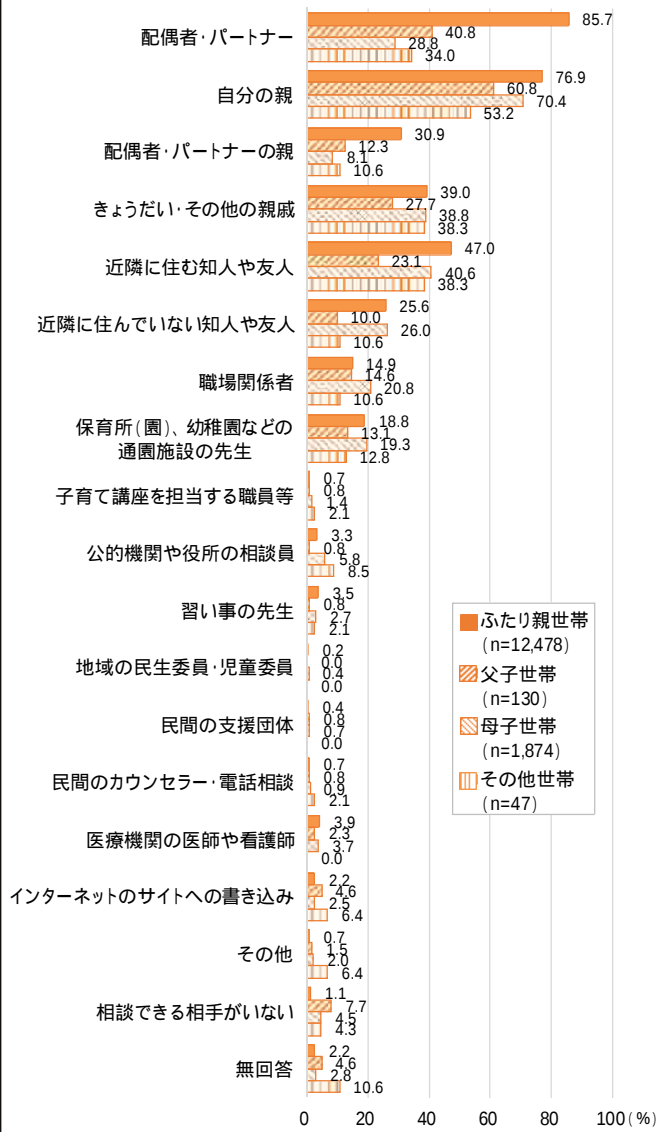
5歳児のいる世帯では、中央値以上群は9.4%であるのに対し困窮度 群は18.6%となっています。

・世帯構成別に見た、保護者が困ったときの相談先

小5・中2のいる世帯(図 291)



5歳児のいる世帯(new)

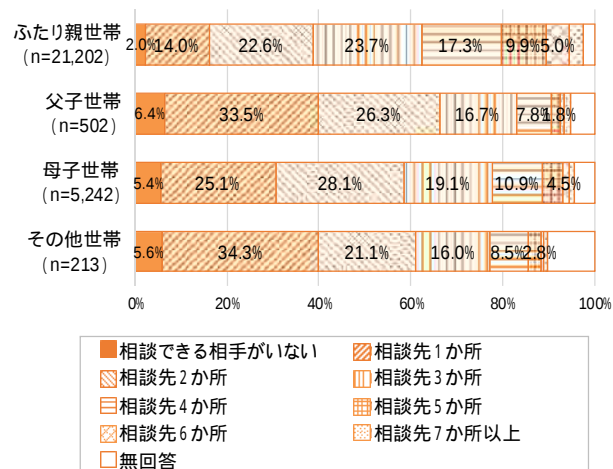


世帯構成別に保護者が困ったときの相談先について、「相談相手がいない」に着目すると、小学校5年生・中学校2年生のいる世帯は、ふたり親世帯で 2.0%、父子世帯で 6.4%、母子世帯で 5.4%となっています。

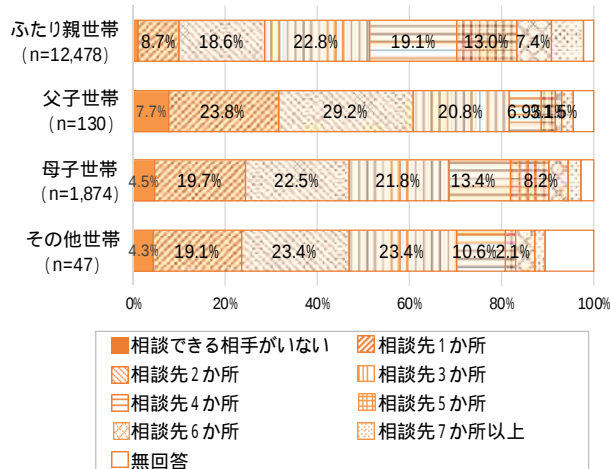
5歳児のいる世帯は、ふたり親世帯で 1.1%、父子世帯で 7.7%、母子世帯で 4.5%となっています。

・世帯構成別に見た困ったときの相談先の箇所数

小5・中2のいる世帯(new)



5歳児のいる世帯(new)

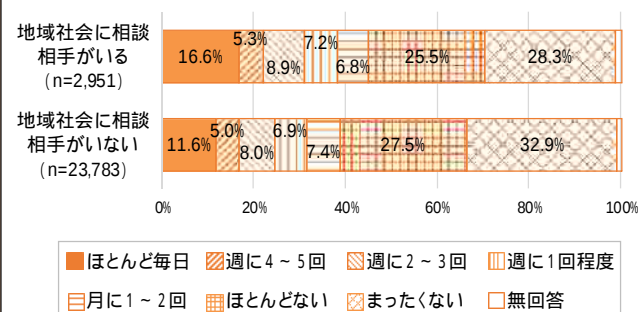


世帯構成別に相談先の箇所数をみると、相談できる相手がないと相談先が1か所の割合の合計は、小学校5年生・中学校2年生のいる世帯では、ふたり親世帯は16.0%であるのに対し、母子世帯は30.5%、父子世帯は39.9%となっています。

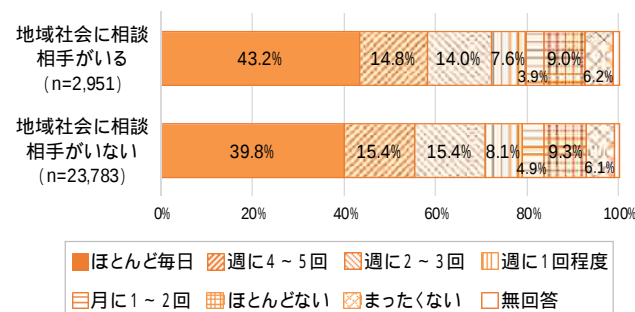
5歳児のいる世帯では、ふたり親世帯は9.9%であるのに対し、母子世帯は24.2%、父子世帯は31.5%となっています。

6 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者とこどもの関わり

おうちの大人に宿題を見てもらうか(図 297)



おうちの大人と学校の話をするか(図 298)



地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者とこどもの関わりを見ると、地域社会に相談相手がいる群の方が、「おうちの大人に宿題をみてもらう」に「ほとんど毎日」と回答する割合が高く、「おうちの大人と学校のできごとについて話す」に「ほとんど毎日」と回答する割合が高くなっています。

「学校の先生やスクールカウンセラー」「子育て講座(小・中学生を持つ保護者を対象)等を担当するリーダーや職員等」「公的機関や役所の相談員」「学童保育の指導員」「地域の民生委員・児童委員」「民間の支援団体」「民間のカウンセラー・電話相談」「医療機関の医師や看護師」のうち少なくとも1つを選択した人を、「地域社会に相談相手がいる」としています。